



年内の動きのピークは10月。  
長期スタッフ確保のためには早めの採用活動がおすすめです。  
11月後半から12月は情報収集層への継続的な採用活動を続けましょう。

	10月	11月	12月
アルバイト・パート	<p>年末に向けた準備のピークを迎え、求人数も多くなります。 学生、主婦(夫)、シニアなど幅広い層からの応募が期待できますが、学校行事が多く、応募数には地域差が出ることもあります。</p>	<p>小売、物流業界の求人募集がピークを迎え、短期バイトの希望者が増加します。 11月後半からは動きが鈍くなる傾向がありますので、早めの採用活動がおすすめです。</p>	<p>全体的に動きは鈍めの時期です。とはいえ、年明けからの長期勤務希望者は継続して情報収集しています。 長期休暇の間に検討してもらえそうな体制を整えましょう。</p>
正社員	<p>年度替わりで気持ちに変化がある求職者が多く、年明け転職を目指して動きが活発化する時期です。 転職サイトで新規登録者数のピークを迎えるのもこの時期です。 ※<a href="https://umai-jinji.jp/column/market-202310/">https://umai-jinji.jp/column/market-202310/</a>参照</p>	<p>年内転職のラストチャンスとなります。冬のボーナス支給後の退職者が情報収集を始める時期でもあるので、スピード感ある選考と来年に向けた種まき、両軸での採用活動が重要です。</p>	<p>12月は新規登録者・応募者ともに鈍化傾向です。その半面、ボーナス支給後の退職者の情報収集が活発化する時期なので、継続的に求人を露出して応募の選択肢に入ることが重要です。</p>